

津波を想定した代替拠点設置等の BCP 訓練を実施しました。

日立・高萩広域下水道組合

日立・高萩広域下水道組合（伊師浄化センター）は、茨城県日立市北部の海拔約 3 m に位置し、津波浸水想定区域となっていることから、太平洋でマグニチュード 9 クラスの大きな地震が発生し大津波警報が発表されると 9 分後には約 8.6 m の津波が到達すると予想されています。

そこで、9 月 8 日に下水道 BCP に基づき、大津波警報により庁舎（浄化センター）が使用不能となることを想定し、津波避難訓練とともに海拔 29 m の代替拠点に災害本部を設けるという初の初期対応訓練を行いました。

職員は地震発災と同時に来客者らを迅速に退避させ、大津波警報が発令されると約 2 km 先の市民広場へ管理委託業者とともに避難をし、管理職員はさらに約 1.6 km 離れた代替拠点である日立市役所十王支所に移動して災害対策本部を設置しました。

災害対策本部では、避難状況の報告と予め配備をしておいた緊急連絡網や処理場施設及び主要な管路施設図面等を使い、情報伝達や応援要請、更には所管施設の点検・調査開始指示等の初期対応訓練を行いました。

なお、地震により広範囲に下水道が使えなくなったことを想定し、代替拠点駐車場においてマンホールトイレの設置訓練を併せて行いました。

○訓練日時 平成 29 年 9 月 8 日（金）午後 2 時から 4 時

○想定地震規模 東北地方沖マグニチュード 9 震度 6 強
気象庁から大津波警報が発表された。

○訓練の状況



訓練開始放送



津波警報発表



津波避難訓練状況



代替拠点での災害対策本部設置



初期対応訓練状況



マンホールトイレ設置訓練状況

以上